

観光人類学 II

科目ナンバリング CUA-202
選択 2単位

田中 孝枝

1. 授業の概要(ねらい)

観光人類学の基本的な議論を理解し、観光現象を批判的に捉える洞察力を身につけることを目的とする。今日、観光は世界的に巨大な現象となっており、日本においてもインバウンド観光の振興が重要な課題となっている。授業を通して、世界各地で実際に生じている観光現象が社会や文化に与える影響を、多角的に考察するための視座を学ぶ。

2. 授業の到達目標

観光人類学の基本的な議論を理解することができる。
観光現象のトレンドを知ると同時に、主に社会・文化の視点から批判的な洞察力を鍛えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業態度 20%
課題 40%
期末テスト 40%

4. 教科書・参考文献

教科書
西川克之・岡本亮輔・奈良雅史 フィールドから読み解く観光文化学:「体験」を「研究」にする16章 ミネルヴァ書房
参考文献
山下晋司 観光文化学 新曜社

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

観光人類学 I を履修していない学生の参加も歓迎です

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:観光への文化人類学的アプローチ
- 【第2回】 民族と観光:エスニック・ツーリズムの展開
- 【第3回】 民族と観光:エスニック・ツーリズムの可能性
- 【第4回】 宗教と観光:巡礼ツーリズム
- 【第5回】 宗教と観光:観光の領域横断性
- 【第6回】 政治と観光:政治が観光に与える影響、観光が政治に与える影響
- 【第7回】 環境と観光:エコツーリズム
- 【第8回】 環境と観光:オーバーツーリズム
- 【第9回】 観光ビジネスへの社会文化的アプローチ:インバウンド観光の展開
- 【第10回】 観光ビジネスへの社会文化的アプローチ:インバウンド観光による多文化化
- 【第11回】 観光ビジネスのリスク:リスクの資源化
- 【第12回】 越境と観光:社会運動としての旅
- 【第13回】 越境と観光:ボーダーツーリズム
- 【第14回】 越境と観光:コロナ禍の観光における「境界」
- 【第15回】 期末試験